

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【公開番号】特開2009-6530(P2009-6530A)

【公開日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-002

【出願番号】特願2007-168411(P2007-168411)

【国際特許分類】

B 3 2 B	27/36	(2006.01)
B 3 2 B	27/32	(2006.01)
B 3 2 B	27/30	(2006.01)
B 2 9 C	61/06	(2006.01)
B 6 5 D	65/40	(2006.01)
G 0 9 F	3/04	(2006.01)
B 2 9 K	9/06	(2006.01)
B 2 9 K	23/00	(2006.01)
B 2 9 K	67/00	(2006.01)
B 2 9 K	105/02	(2006.01)
B 2 9 L	7/00	(2006.01)
B 2 9 L	9/00	(2006.01)

【F I】

B 3 2 B	27/36	
B 3 2 B	27/32	C
B 3 2 B	27/30	B
B 2 9 C	61/06	
B 6 5 D	65/40	A
B 6 5 D	65/40	D
G 0 9 F	3/04	C
B 2 9 K	9/06	
B 2 9 K	23:00	
B 2 9 K	67:00	
B 2 9 K	105:02	
B 2 9 L	7:00	
B 2 9 L	9:00	

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月11日(2010.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非晶性ポリエステル系樹脂を主成分として構成される表面層(A層)、単量体成分としてスチレン系単量体を10~60重量%及び共役ジエンを40~90重量%を含むスチレン系熱可塑性エラストマー、及び/又はその誘導体を主成分として構成される中間層(B層)、および、ポリオレフィン系樹脂を主成分として構成される中心層(C層)が、A層/B層/C層/B層/A層の順に、他の層を介さずに積層され、

前記非晶性ポリエステル系樹脂は、ジカルボン酸成分としてテレフタル酸、ジオール成分としてエチレングリコールを用いたポリエチレンテレフタレートであって、当該ジカルボン酸成分及び／又はジオール成分の一部が他のジカルボン酸成分及び／又はジオール成分に置き換えられた変性ポリエチレンテレフタレートであることを特徴とするシュリンクフィルム。

【請求項 2】

B層を構成するスチレン系熱可塑性エラストマーにおいて、スチレン系単量体がスチレンであり、共役ジエンが1，3-ブタジエン及び／又はイソプレンである請求項1に記載のシュリンクフィルム。

【請求項 3】

C層を構成するポリオレフィン系樹脂が、メタロセン触媒を用いて重合して得られたポリプロピレンを主成分とする請求項1または2に記載のシュリンクフィルム。

【請求項 4】

T型剥離試験（JIS K 6854-3に準拠、剥離速度：200mm／分）における、各層間の層間強度が2（N/15mm）以上である請求項1～3のいずれかの項に記載のシュリンクフィルム。

【請求項 5】

請求項1～4のいずれかの項に記載のシュリンクフィルムの少なくとも一方の面側に印刷層を設けたシュリンクラベル。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

すなわち、本発明は、非晶性ポリエステル系樹脂を主成分として構成される表面層（A層）、単量体成分としてスチレン系単量体を10～60重量%及び共役ジエンを40～90重量%を含むスチレン系熱可塑性エラストマー、及び／又はその誘導体を主成分として構成される中間層（B層）、および、ポリオレフィン系樹脂を主成分として構成される中心層（C層）が、A層／B層／C層／B層／A層の順に、他の層を介さずに積層され、前記非晶性ポリエステル系樹脂は、ジカルボン酸成分としてテレフタル酸、ジオール成分としてエチレングリコールを用いたポリエチレンテレフタレートであって、当該ジカルボン酸成分及び／又はジオール成分の一部が他のジカルボン酸成分及び／又はジオール成分に置き換えられた変性ポリエチレンテレフタレートであることを特徴とするシュリンクフィルムを提供する。